

第7回 沖縄リハビリテーション栄養研究会のお知らせ

今年も、下記の通り、沖縄リハビリテーション栄養研究会を開催させていただくこととなりました。今回は、講師に、長崎リハビリテーション病院の栄養管理室長、西岡心大先生、と、リハビリテーション栄養という言葉の産みの親である、横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科の若林秀隆先生をお招きいたします。西岡先生は、今回の診療報酬改定において、多数の論文が引用されるなど、これからの栄養管理の在り方、リハビリテーションの在り方などに多大な影響を与えられ、日本の栄養管理の将来を担う最有力候補といっても差し支えありません。今回は、『回復期リハ病棟における栄養ケアの意義とその実践』と題して、これまでのご研究の経緯のほか、今後の展望などについても、最前線の知見も含め、お話しいただけるものと存じます。また、若林先生には、『リハビリテーション栄養2.0 リハ栄養の新たな定義とリハ栄養ケアプロセス』と題して、リハビリテーション栄養の今後の展開についてお話いただきます。今回は、特別なリクエストとして、「脳卒中モデルと高齢者モデル」のお話や、「サルコペニアの嚥下障害」、老化による嚥下障害である「老嚥」などについてもお話いただくことになっております。

今年も一般演題を募集いたします。みなさまの日頃の活動や、悩みなどを、お気軽に応募してください。どうぞよろしく願いいたします。

日 時：平成29年7月21日（土）（14：00～18：00を予定）

会 場：沖縄産業支援センター

定 員：300名 参加費：1000円

一般演題（数題）

特別講演1

講師：長崎リハビリテーション病院 栄養管理室長 西岡 心大 先生

演題：『回復期リハ病棟における栄養ケアの意義とその実践』

特別講演2

講師：横浜市立大学市民総合医療センター リハビリテーション科 若林 秀隆 先生

演題：『リハビリテーション栄養2.0 リハ栄養の新たな定義とリハ栄養ケアプロセス』

※ お問い合わせ：

ちゅうざん病院 吉田 貞夫

TEL：098-982-1346 FAX：098-982-1347

※ 一般演題募集！（タイトル締切：5月31日、抄録締切：6月29日）

リハビリテーションを行う症例への栄養ケアの工夫、リハビリテーションを行うことで経口摂取や栄養状態が改善した経験、サルコペニア、フレイルティへの取り組み、他職種連携への取り組みなど、みなさまの日頃のケアに関する演題をドシドシお寄せください。

発表タイトルお申し込み方法：専用の用紙で、FAXでお申し込みください。

チラシの画像は、下記リンクよりダウンロード可能です。

<http://bit.ly/2vp1gpy>

FAX : 098-982-1347

ちゅうざん病院 吉田 貞夫 宛

第7回 沖縄リハビリテーション栄養研究会演題申し込み

第7回 沖縄リハビリテーション栄養研究会に、下記の演題を申し込みます。

演題 : _____

お名前 : _____

ご所属 : _____

共同演者 (ご所属) : _____

※ 共同演者は必須ではありません。

ご連絡先 : TEL _____ FAX _____

または e-mail : _____

抄録 (A4用紙1枚以内) は、

メール (sadao.yoshida@mac.com)

または Facebook 経由で、6月29日までにお送りください。

第7回 沖縄リハビリテーション 栄養研究会

定員
300名

参加費
1000円

特別講演1 **西岡心大** 先生
長崎リハビリテーション病院 栄養管理室

『回復期リハ病棟における栄養ケアの意義とその実践』

特別講演2 **若林秀隆** 先生
横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科

『リハビリテーション栄養2.0』
～リハ栄養の新たな定義とリハ栄養ケアプロセス～

そのほか一般演題2～3題を予定

日時：平成29年7月21日（土）

14：00～18：00

場所：沖縄産業支援センター

お問い合わせ先 ちゅうざん病院 吉田貞夫

TEL：098-982-1346

※受付時間 9:00～17:00(金・土・日・祝除く)